

■工学プロジェクト（学内企業実習）

通常のインターンシップと違い、企業人が大学に出向き、学生が1日社員としてグループワークを行う科目です。企業から与えられた課題をグループで解決し、就職するために必要な能力を身に付けることを目的とします。

◆実習前指導

実習前指導では、この「工学プロジェクト」では何をめざしているかについての説明とブレインストーミング、KJ法といった創成活動の基礎を学ぶと共にグループワークにおいて、挑戦・創造・コミュニケーションの経験を積みました。今年度の実習前指導の課題は、「新潟県の特徴、特性を活かしたビジネスの提案」です。マーケティングなどに関するショートレクチャーを受けた後、提案内容をまとめて、プレゼンテーションを行いました。



◆学内企業実習

参加した企業は、3社で、各社異なるテーマで実施しました。学生は、各社3チームに分かれ、課題に取り組んで、成果発表を行いました。

●株式会社北村製作所コース 「未来のトラック物流を考えた時に、必要とされる配送車(トラック)」



●株式会社コロナコース 「モノづくりの魅力や製造メーカーで働くことの面白さや、やりがいを伝えるための入社案内」



●一正蒲鉾株式会社コース 「商品生産ラインの省人化の検討/コストを抑えた省人化」



●全体発表、優秀グループ表彰

3コースの中から各1グループが優秀グループとして全体発表を行い、企業講師の先生からご講評をいただき、その後、優秀グループの表彰を行いました。



◆事後指導

学内企業実習と同一メンバーでふりかえりを行いました。



それぞれの教室で担当の先生がアドバイスします



「ふりかえり」の発表です



優秀グループに選ばれても反省点はあります

◆今後の予定

- ・KSK柏崎ビジネスプランコンテスト2014（PBL実習の学生グループが出場） 12/19
- ・PBL実習、中間報告会 12/24

◆最後に一言(花岡 明正 就業力育成推進部会 副部長)



今夏も「工学プロジェクト」が行われた。参加学生にとって有意義な体験となるであろうことは、学生の様子からも見てとることができるし、さらに学生が就職活動をする段になると、こうした体験がいかに有意義なものかを実感するらしい。それはそのように学生が語ることも知るのである。学生のこうした体験は、「教養」における「自己形成」の第一歩を踏み出すものと言ってよい。それは、就業力科目において学生は、自分を見（自己理解）、周囲の人を見、社会を見、そして進むべき方向を見出し、また自分を見直すといったことを実践するからである。就業力科目の意義は、この辺りにもあるのである。

新潟工科大学 就業力育成事業部会(事務局:キャリア・産学交流推進課)

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719

TEL:0257-22-8110 FAX:0257-22-8123 Mail:career-sangaku@adm.niit.ac.jp

職業人育成事業HP:<http://www.niit.ac.jp/SHUGYO/>